

"あらゆる病院を駆け巡り、9年間クスリを飲み続けても治らなかった胃腸の病気が、完全に治った体験です"

もう、無駄なお金と時間は使わないでください！



現在の私です 59歳

顔色も悪く、体重47kg 17歳の頃



それは中学一年生(13歳)の時から始まりました。

昼食前のお腹が空いてく頃になると胃腸が痛くなり、胃の中に食べ物が入ると痛みが治まることの繰り返しでした。

胃の薬を飲んだり、胃酸過多ではないかと炭酸を飲んだりしましたが治まるのは一時的なことで、それも長くは続きませんでした。

高校時代 それは私にとって灰色の青春時代でした。

毎朝起きたとき 最初に感じることは、胃のモタレでした。
青白く、体重は47kgまで落ちてしまい、17歳の写真のとおりです。
二週間に一度は高校に欠席届を出して、病院通いです。

奈良県の大きな病院だけではなく、大阪の有名な大病院や開業しておられる病院等駆け巡りました。
多い時には食前、食後に、食間のクスリで、一日に9回飲み続け、クスリ漬けの毎日でしたので、ほとんどのクスリは水無しでも飲むことが出来るようになりました。

一生持ち続けていく病気だと思いました。

22歳まで、あらゆる病院を通い、クスリを飲み続けても治りませんでしたので、一生持ち続けていく病気だと諦めていました。

なす術もなく“もう落ちるところまで落ちてしまった”と絶望感でいっぱいでした。

しかしそのことが結果的によかったです。

ドン底まで落ちた所で開き直り、“お医者さんやクスリに頼らず自分の力で治してみよう！”と思ったことが治り始めのきっかけです。

完璧に治った方法は次のとおりです。

病院通いと薬を飲むことをやめたこと

自分の力で治そうと思ったこと。

対処療法で消し止めるのではなく、根本原因の火種を消すこと。

青汁を飲んだこと

私の場合は 量があって値段も高くない、(青汁の創始者 遠藤仁郎博士)の無農薬・無科学肥料「ケール100%の乾燥青汁」を毎日1袋(240g)を飲みました。

1ヶ月 当時、30袋 2,000円 現在 3,000円の投資です。

(症状の重い方は1日2～3袋をお薦めします)

これで本当にウソのように完全に治りました。

それまでは、疲れるとすぐに胃に負担が掛かっていましたが、それからは過労でダウンしても胃腸は大丈夫です。

毎朝コップ一杯の水を飲むこと

便秘で苦勞していましたが、青汁を飲むことによって通じがよくなり、毎朝コップ一杯の水を飲むことによってさらに通じがよくなりました。

今まで公開しなかった理由は？

その当時(1980年頃)、科学的に納得できるような証明が出来なかったからです。しかし、このことは私の実体験で事実でした。

“**事実は理論に優先する**”この言葉は、「無農薬有機農法」産みの親のお医者さん 梁瀬義亮先生のお言葉です。

現代ミリオンセラーの「病気になるない生き方」(新谷弘実教授著)に、お医者さんの立場からも述べられていますし、

全米で900万突破のベストセラー「病気になるない人は知っている」(ケヴィン・トルドー著)

のなかで“医者と薬とファーストフード”のこと等、日米で私が体験してきた事とよく似たことが述べられています。

もう私の体験したことや考えていることとお話することが出来る環境が整って来ましたので勇気を出して書きました。

では、なぜ治ったのでしょうか？

(現在、医学は対処療法、応急処置では大変進んでいます。

また個人差がありますのですべての方に効果があるかどうかは分かりませんが？ 私の仮説も含めて、出来るかぎり思いのまま書いてみます。)

自然治癒力

人間には本来自然治癒力、免疫力、抵抗力が備わっています、病気は自然治癒力で治るのであって、クスリはそれを助ける働きです。

食物繊維 緑黄野菜

クスリに頼ってしまいますと、胃腸の働きが鈍ってきます。

食物繊維が胃腸の働きをよくするのです。

我が家の犬と猫も体調が悪くなると決まって、食物繊維の多いイネ科の草を選んで食べています。

日本の土壌と日本人に不足がちな、カルシウム、マグネシウム、ミネラルの補給になり身体を弱アルカリ性にする効果があります。

胃腸が悪くなると神経もイライラします、神経がイライラしますと胃腸が悪くなり悪循環になります。緑黄野菜は神経を穏やかにしますので悪循環を断ち切る効果があります。

酵素(エンダ임)の多く含まれている食品

ファーストフードや加工食品を消化するには多くの酵素(エンダ임)を必要とします。

また、科学合成の薬物、添加物は体中の酵素のバランスを崩します。

一方、新鮮な果物や野菜には多くの酵素(エンダ임)がふくまれています。

自分の力で治そうと思ったこと

あるカウンセラーでお医者さんのお話ですが、
“うつ病の患者さんも、本人が治そうと思わなければ、なかなか治らない”そうです。

自分が望む現実を創り出すには、実現したい結果について強く願い思ってください。

“そう思えば、そうなります”

胃腸の病気で悩み苦しんでおられる方々に、よくなっていたきたい願いを込めて書きました。
お一人でも多く方に、少しでも良くなっていたくことが出来ましたら、私が9年間 胃腸の病気で悩み苦しんだことが、決して無駄ではなかったこととなります。

まずは実践してください、最低3ヶ月は続けてみてください、
顔色が良くなり、肌に「つや」が出てきましたら効果が出てきている証です。

みなさんが、ご健康とご多幸を得られますように、心からお祈りいたしております。